

プロフェッショナルな投資家 (professional clients) のみを対象としており、
一般投資家 (retail clients) に配布することはできません。投資には必ずリスクが伴います。



アクティブ・ オーナーシップ

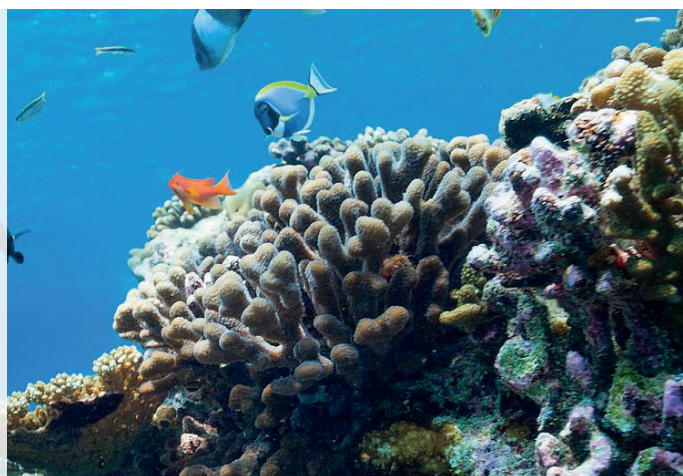
良い変化を生むためのグローバルなエンゲージメント

アクティブ・オーナーシップは、お客様のために持続可能な価値を創造しようとすることを意味します。
リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント (LGIM) の年次報告書では、
2021年にどのようにしてこれを達成したかを詳細に記しています。

「環境、社会、ガバナンス (ESG) 面での成果を
高めようという思いは、部門を問わず
LGIMのビジネス全体に浸透しています。
責任ある投資を通してより良い未来を築く
ことこそが、LGIMの目指すところなのです」

ミッシェル・スクリムジャー

リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント (LGIM) CEO



数字で見る2021年



70%

2030年ネットゼロと整合性
のある運用資産の割合目標



571

LGIMのインベストメント・スチュワード
シップ・チームがエンゲージメントを
実施した企業数



£2900億ポンド¹

責任投資戦略による運用資産額



28

新たに提供を開始した
責任投資戦略の数



180,200²

世界全体で議決権を行使した
議案数

注: 本文書は2021年におけるLGIMのスチュワードシップ活動について報告するものです。別段の記載のない限り、出典記載のない情報、
データ、図表はすべて2021年12月31日時点のLGIM内部データを基にしています。

LGIMが目指すのは.....

.....投資対象である企業や資産、そして社会全体に前向きな変化をもたらすことです。
2021年、LGIMは以下の分野に重点的に取り組みました。



政策提言と協力

- 2021年、LGIMは世界各国の政策立案者に対してエンゲージメントを実施し、英国、欧州、オーストラリア、日本、米国の市場を対象に30を超えるテーマを取り上げました
- 協働により変化を推進するために、同業他社や業界団体、NGO、学界、市民社会との協力を継続しました



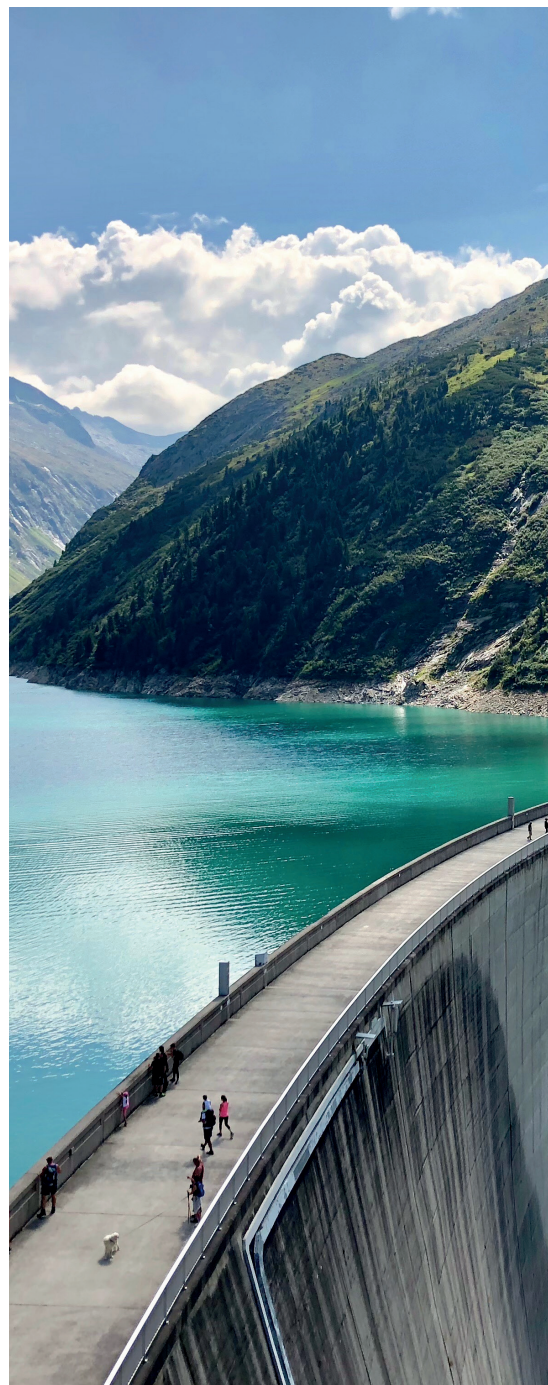
ダイバーシティについての行動

- 2021年、LGIMは取締役会のダイバーシティに係る懸念から世界全体で取締役370人の選任に反対しました³
- また、英国と米国の最大手企業に対して、取締役会の人種・民族的ダイバーシティを推進するために、2回目のエンゲージメントを実施しました。2022年はLGIMが、取締役会に人種・民族的ダイバーシティが欠けていることを理由とする反対票を企業に対して投じる、初めての年になるでしょう



環境と気候

- 2021年、LGIMは気候リスク管理の責任が取締役にあるとする姿勢を変えず、LGIMクライメート・インパクト・プレッジ（気候影響誓約）に基づき100社以上に対して行動を起こしました
- 2021年には**生物多様性ポリシー**を発表しました。このポリシーは、LGIMが政策立案者との協力を通じて生物多様性の喪失に取り組むこと、および生物多様性のリスクと機会への対応能力を高めることを約束するものです





公正な報酬

- LGIMは市場に対する期待を明確にし、透明性のある方針として越えてはならない一線（レッドライン）に照らして企業の報酬体系を検証します
- 2021年は引き続きステークホルダーの立場を重視し、政府や株主から支援を受けている企業に対する監視を続けました



適正なガバナンスの提唱

- 2021年、LGIMは透明性に出遅れが見られる企業100社以上とエンゲージメントを実施しました。改善が見られなければ、取締役会議長を務める取締役の選任等に反対票を投じます
- LGIMは、CEOと取締役会議長の分離を求め続けており、2020年以降、すべての兼任案に対して反対票を投じてきました



医療と人権

- LGIMは、薬剤耐性の問題がグローバルヘルスにおける次なる脅威になりうると考えており、この問題に対処するためにさまざまな行動を起こしました
- LGIMは2021年に出された人権問題への対応を求める株主提案をすべて支持しました



投資家の権利保護

- 2021年、LGIMはガバナンスの改善を求める複数の株主提案を共同で提出し、投資家にとって重要な情報開示を得ることに成功しました
- LGIMは「1株1議決権」の原則を主張し、株主の権利を守るために規制当局とのエンゲージメントを続けています



2021年のその他のハイライト

数字で見るアクティブ・エンゲージメント

インベストメント・スチュワードシップ・チームの2021年実績は以下の通りです

312回



会議や電話

461回



書面によるエンゲージメント

エンゲージメントのテーマ別内訳*



エンゲージメントの上位4テーマ*



246

気候変動



205

報酬



133

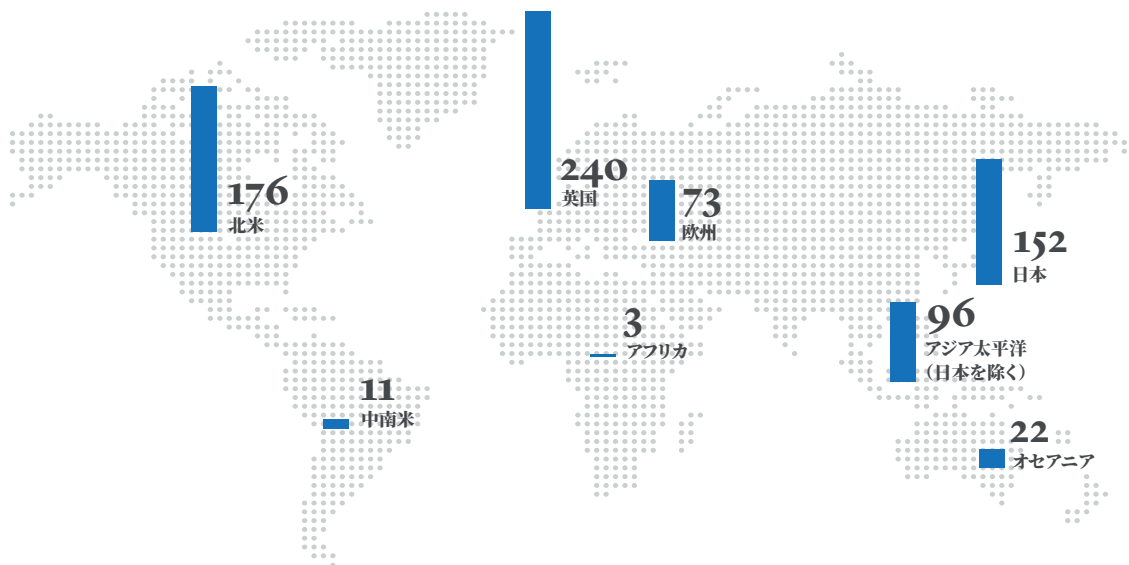
LGIMの
ESGスコア



131

企業の情報開示と
透明性

エンゲージメントの地域別内訳



*注：一度のエンゲージメントにおいて複数のテーマを扱う場合があります。



議決権行使と開示

- 2021年、LGIMは15,400以上の株主総会で180,200を超える議案に票を投じました。
- 2021年には議決権行使の意思の事前開示を始めました。開示には、一元化された透明性のあるわかりやすいフォーマットを使用しています。



業界および同業他社からの支持

2021年、LGIMはインベストメント・スチュワードシップ・チームのスチュワードシップに関する方針、実践、開示が評価され、ICGNグローバル・スチュワードシップ・アワード2021年の部門別最優秀賞に選ばれました。さらに、LGIMはプロフェッショナル・アドバイザーの表彰で「ESGにおける最優秀マルチアセット・グループ/ファンド」にも選ばれました。

また、英国財務報告評議会（Financial Reporting Council：FRC）も、LGIMのスチュワードシップ水準が高いことから、LGIMを英国スチュワードシップ・コード署名団体の成功例として評価しています。そのほか、LGIMはリスク・アワードにおいてもDestination@Risk気候モデルが評価され、「インベストメント・ハウス・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました⁴。



レポート全文

2021年のLGIMアクティブ・オーナーシップの詳細については、下記のウェブサイトより本レポートの全文をご覧ください。本文書で取り上げた事例以外にも、前向きな変化を推進するためのLGIMの取り組みを多数紹介しています。

www.lgim.com/activeowner

LGIMのインベストメント・スチュワードシップ・チームでは、LGIMのブログやポッドキャストチャンネル「LGIM Talks」でも最新情報を定期的に発信しています。

⁴ 過去の実績は、将来の指針となるものではありません。

¹LGIM (2021年12月31日時点)。責任投資戦略の資産運用残高は、ファンドやお客様との投資運用契約口座のうち、ファンド文書またはお客様の投資運用契約に、ESG基準が意図的かつ積極的に表されているものの運用資産残高のみとなっています。

²すべての運用資産を対象とします。

³LGIMの主要なFTSEインデックスで運用するファンドの議決権行使指図。

⁴過去の実績は、将来の指針となるものではありません。

お問い合わせ

LGIMについての詳細は、lgim.comをご覧ください。また、LGIMの営業担当者までご連絡ください。



重要なリスク

投資の価値とそれから得られる収益は、保証されているものではなく、変動するおそれがあり、投資した元本を取り戻せない場合があります。過去の実績は、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。

特定の証券についての言及は、わかりやすくご説明することのみを目的としています。これらは、過去の事象に基づくものであり、その証券がLGIMのポートフォリオに現在保有されていることも今後保有されることも意味するものではありません。これらの情報は証券の売買を推奨するものではありません。

仮定、見解、予想は、わかりやすくご説明することのみを目的として掲載するものです。予測が現実になることを保証するものではありません。

重要情報

LGIMの議決権行使に関するデータソースは、すべてLGIM内部データです。ご要望により詳細情報をご提供いたします。

本文書は投資を勧誘するものではありません。

本文書に掲載されている情報（「掲載情報」）は、リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント（ホールディングス）リミテッド（LGIM (H)）およびそのグループ会社（「リーガル・アンド・ジェネラル」）が作成したものです。掲載情報は、スチュワードシップに関する重要事項についてリーガル・アンド・ジェネラルの考え方を示すものであり、上場企業に対して、また広く株式発行体に対して、影響を及ぼす可能性があります。本文書をできる限り多くの国や地域において配布できるようにするため、掲載情報については、LGIM (H) グループ傘下の関係会社が提供する具体的な商品やサービスについての説明を意図的に控えています。

いかなる者も、掲載情報についても本文書に関連して提供された書面または口頭による情報についても、その正確性や完全性に関してリーガル・アンド・ジェネラルに対し訴訟を起こす権利を持ちません。本文書およびリーガル・アンド・ジェネラルが提供するその他のいかなる文書や発表資料のいかなる部分も、英国の1995年年金法（改正）の解釈上の「適切な助言」とはみなされません。

制限事項：

リーガル・アンド・ジェネラルとの書面による別途の合意がない限り、本文書の掲載情報は、(a) 情報提供のみを目的としており、それに基づくいかなる行為の勧誘も行うものではなく、(b) 証券の売買や、特定の投資戦略の実行を提案するものでもなく、(c) 投資、法律、規制、税金に関する助言でもありません。法律により許される限りにおいて、制定法や判例法によって示唆される掲載情報に関連するすべての表示、保証、条件、約束その他のあらゆる合意については、免責とします。掲載情報の質、適切性、正確性、完全性に関する表示などが対象となります（これに限定するものではありません）。

掲載情報は「現状有姿の状態」で提供されるものです。リーガル・アンド・ジェネラルは、法律により許される限りにおいて、お客様または掲載情報を受領したその他の者が掲載情報を利用もしくはこれに依拠したこと起因する、またはそれに関連して生じる、いかなる損失、損害、費用/コストについても、一切責任を負いません。リーガル・アンド・ジェネラルは、損害の原因や責任の根拠にかかわらず、契約責任であれ不法行為責任であれ（過失を含む）、その他いかなる場合であれ、リーガル・アンド・ジェネラルがそうした損害の可能性について通知されていた場合であっても、間接損害、特別損害、派生的損害について一切責任を負いません。

第三者に関するデータ：

本文書においては、第三者の情報やデータ（「第三者データ」）が掲載されていますが、リーガル・アンド・ジェネラルは、これらの第三者データの正確性、完全性、信頼性について保証することはできません。また、これらについていかなる責任も負うものではありません。

公表、修正、更新：

リーガル・アンド・ジェネラルは、本文書がお客様の手元に届いた後に、掲載情報を更新・修正する義務も、掲載情報の誤記を訂正する義務も負いません。リーガル・アンド・ジェネラルは、本文書および掲載情報をいつでも通知なく更新する権利を有します。本文書の掲載情報は、本文書の作成または公表時において正しいものと考えますが、本文書の公表後に入手可能になりうる情報に照らして完全性および正確性を保証するものではありません。本文書の作成または公表後に、関連性の高い出来事や事実、状況が生じた場合、それが掲載情報に反映されていない可能性があります。

© 2022 リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント（ホールディングス）リミテッド。イングランドとウェールズにて登記（No. 04303322）。登録所在地：One Coleman Street, London, EC2R 5AA